



秋の収穫作業が始まります。

## コンバインの点検整備はお済みですか？

作業前に点検や整備等を行って、事故や故障のトラブルを未然に防ぎましょう!! 山口市陶の農機具店「まんぞく農機」の一級整備士、田中 淳さんに作業前点検のポイントを聞いてみました。

- 点検は、必ず駐車ブレーキをかけ、エンジンを止めてから行ってください。
- 基本は、「掃除」。揺動板の上やタンクの裏側など、こまめに掃除をしましょう。



### 稼働前の点検のポイント…



- ⑤ ベルトは、緩んだりひび割れ等を起こしてしまいます。因になってしまいます。
- ⑥ クローラにひび割れや亀裂はありませんか。
- ⑦ クローラは、たるみがないように張っていますか。張りすぎてもいけないで、適度に。

他にも、エンジンオイルは、100時間稼働に1回交換することをおすすめします。また、近年倉庫内で格納中にネズミ等の被害があるようです。格納される場合は、ゴミ等を取り除いて、脱穀部は開放し、倉庫内には外からの光を入れるようにしてください。

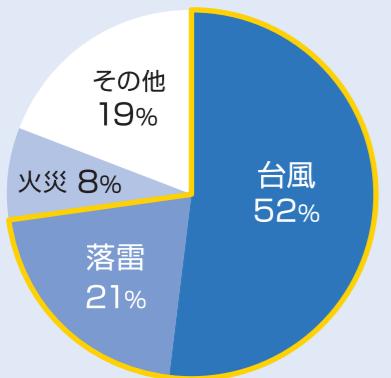
最後に、農機具の点検は自動車のように義務化されていませんが、高額な農機具を長く大切に使つていただくには、2年に一度は、農機具店での点検整備をおすすめします。また、最近の農機具は、高性能化され作業の自動化がなされています。安全に作業をしていたくために、取扱説明書は必ず読んでください。



自然災害に備えよう

## 充実補償で落雷・台風対策を。

●平成27年度から現在までの事故支払件数内訳



●平成27年度から現在までの損害種類別支払件数

|    | 金額     | 件数   |
|----|--------|------|
| 台風 | 30万円以下 | 204件 |
|    | 30万円以上 | 36件  |
| 落雷 | 30万円以下 | 92件  |
|    | 30万円以上 | 5件   |

このように台風・落雷事故が多く、ほとんどの被害が30万円以下の小損害となっています。

幸い、昨年はそれほど多くの台風被害はありませんでしたが、過去三年間のデータから見ると山口県でも多くの被害が発生しています（左図グラフ参照）。

NOSAIの建物共済は、落雷被害を含む火災事故を補償する火災共済と、火災共済の補償に加えて風水害などの自然災害を補償する総合共済の二種類です。

また、左の「損害種類別支払件数」を見ていただくとわかりますように、30万円以下の損害がほとんどです。そこで、前号で紹介しました「小損害実損墳補特約」を付帯すると、もしものときも30万円までの損害の実費の受け取りが可能となり、更なる暮らしの安心を皆様にお届けすることができます。

現在既にご加入いただいている方はもちろん、まだご加入されていない方ご加入を検討されている方も、是非この機会に建物共済の見直しを宜しくお願いいたします。

今年も台風・落雷が猛威を振るう時期がやってきました。



### もしも台風被害で30万円の損害を受けたら…

●総合共済 1,000万円加入、建物再取得価額 2,000万円の場合の共済金計算例

$$\text{(損害額30万円} - \text{1万円}^*) \times \frac{\text{共済金額1,000万円}}{\text{建物価格2,000万円}} = \text{支払共済金14万5,000円}$$

※損害額が建物価額の80%未満の場合は、建物価額の5%に相当する額または1万円のいずれか低い額を損害額より差し引きます。

「小損害実損墳補特約 なしの場合」

損害額の半分以下の  
14万5,000円の受け取り 😞

損害額そのままの  
30万円の受け取り! 😊

### 前号の内容訂正とお詫び

前号(夏号)の、「小損害実損墳補特約の導入」という項目の説明文が不十分のため皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。訂正する箇所と致しましては「建物1棟毎に同一共済種類の加入金額が1千万円以上の契約にのみ付帯できる」と記載しておりました部分が、「(1) 共済金額が1,000万円以上である建物火災共済又は建物総合共済」「(2) 建物火災共済及び建物総合共済(共済目的及び共済責任期間が同一であるものに限る。)の共済金額の合計が1,000万円以上の場合における当該建物火災共済又は建物総合共済のいずれか」となります。詳しくはお近くの共済組合までご連絡ください。

